

香港株式市場フラッシュ

ゼロコロナ政策緩和～中国製ワクチン、国境を跨ぐ移動への期待

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

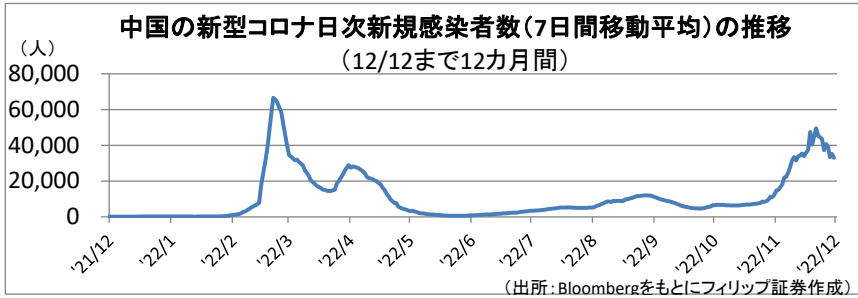
フィリップ証券株式会社

2022年12月14日号(12月13日作成)

”7日を境に一挙に緩和された「ゼロコロナ」政策“

中国の国家衛生健康委員会(NHC)は7日、全土で新型コロナ対策を緩和するのに伴い、新たなガイドラインを発表。①ロックダウンなどの制限は周辺地域や都市全体ではなく、特定の建物やフロアなどにより厳密に定められた特定の範囲に適用。②感染リスクが高いと認定された地域では新たな感染者が出なければ5日以内にロックダウンを解除。③学校の場合は、校内で感染が広がらない限り運営を継続。以上の3点が主な内容だ。そして、市民がパンデミック制御措置によって妨げられることなく救急医療や避難経路にアクセスできるようにしなければならないとされた。

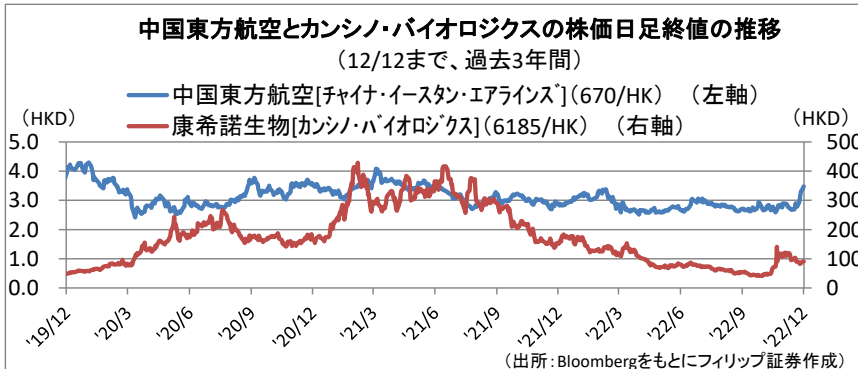
中国政府も同日、「ゼロコロナ政策」の大幅緩和を発表。新型コロナ感染者が無症状あるいは軽症ならば国の施設ではなく自宅で隔離できるようになり、殆どの公共の場でPCR検査の陰性結果を示す義務もなくなった。国内移動規制も緩和された。中国国内の新型コロナ新規感染者数は、検査義務が無くなった面はあるものの、7日移動平均で11/29に約4万8000人でピークを付けた後、減少傾向に転じている。



”中国製ワクチンメーカーと上海拠点の航空大手に注目“

中国当局が9月に緊急使用を承認した康希諾生物[カンシノ・バイオロジクス](6185/HK)製の世界初の吸入型ワクチンは、中国製で主流の不活型ワクチンとの交差接種・追加のブースター接種による注射型と吸入型の併用によって効果を発揮する可能性が高いと言われている。また、同社はメッセンジャーRNA(mRNA)型のワクチン開発についても現在フェーズ2の臨床試験中のなか、上海市で建設中の同ワクチン工場を年末に稼働すると9日に発表。同社の最近の業績動向は、22年1-9月期決算(中国会計基準)で売上高が前年同期比77%減の7.07億元、純利益が前年同期の13.34億元から▲4.74億元への赤字転落と厳しいが、中国政府が本土での外国製新型コロナワクチン承認を拒んでおり、国を挙げて同社への期待が高まる。

国際旅客便の本数はごく僅か、入国者は8日間の隔離が必要とされる中で香港政府は14日から入境後の行動制限を撤廃すると発表。中国本土に先駆けて一段と経済再開に舵を切った。香港の状況によっては、来年3月の全国人民代表大会までに中国政府が国境を跨ぐ移動の再開へと舵を切ることも期待される。中国3大航空グループの一角で上海拠点の中国東方航空(670/HK)は、22年1-9月期決算(中国会計基準)で売上高が前年同期比32%増の358.50億元、純利益が前年同期の▲81.62億元から▲281.16億元への赤字幅拡大も23年の業績回復が見込まれよう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全92銘柄)における終値の2021年末来騰落率

前回基準日: 20221129 基準日: 20221213

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前位	
1	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	46.2	13
2	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	39.3	5
3	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	38.5	1
4	中国海洋石油 [CNOOC]	33.2	2
5	阿里健康信息技术 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	32.8	30
6	JD Health International Inc (京東健康)	31.2	14
7	中国联通 [チャイナ・ユニコム]	30.6	7
8	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	30.2	10
9	Budweiser Brewing Co APAC Lt	21.5	16
10	Haidilao International Holdi (海底撈)	20.7	29

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前位	
92	小鹏汽車	-77.8	92
91	舜宇光学科技(集团) [サニーオプティカル・テクノロジー]	-63.1	87
90	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-58.8	85
89	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-58.2	91
88	SenseTime Group Inc (商湯集團)	-58.2	89
87	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-56.5	88
86	CG SERVICES (碧桂園服務)	-56.2	86
85	ピリピリ	-48.3	90
84	藥明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-44.5	81
83	吉利汽車控股 [ジリー・オートモービル・HDS]	-42.0	83

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2022年11-12月中国主要経済指標】

- 12月1日(木)
 - ・11月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.2、結果49.4
 - 12月5日(月)
 - ・11月(財新)サービス部門PMI: 前回48.4、結果46.7
 - 12月7日(水)
 - ・11月外貨準備高: 前回3.052兆USD、結果3.117兆USD
 - ・11月貿易収支: 前回+851.5億USD、結果+698.4億USD
 - ・11月輸出<前年同月比>: 前回▲0.3%、結果▲8.7%
 - ・11月輸入<前年同月比>: 前回▲0.7%、結果▲10.6%
 - 12月9日(金)
 - ・11月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+2.1%、結果+1.6%
 - ・11月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲1.3%、結果▲1.3%
 - 12月12日(月)
 - ・11月資金調達総額: 前回9079億元、結果1兆9900億元
 - ・11月新規人民元建て融資: 前回6152億元、結果1兆2100億元
 - ・11月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+11.8%、結果+12.4%
 - 12月15日(木)
 - ・11月小売売上高<前年同月比>: 前回▲0.5%
 - ・11月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.0%
 - ・1-11月固定資産投資<前年同月比>: 前回+5.8%
 - ・1-11月不動産投資<前年同月比>: 前回▲8.8%
 - ・11月住宅販売金額<前年同月比>: 前回▲28.2%
 - ・11月新築住宅価格<前年同月比>: 前回▲0.37%
 - 12月20日(火)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.65%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.30%
 - 12月27日(火)
 - ・1-11月工業利益: 前回▲3.0%
 - 12月31日(土)
 - ・12月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回48.0
 - ・12月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回46.7
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。